# 攻めの「やまなし」成長戦略

# 〔戦略のねらい〕

県内の良質な雇用の拡大により、県民の所得向上を実現し、豊かさにつなげていくためには、時代に対応した産業の振興や、デジタル化の更なる推進、文化芸術資源の利活用、スポーツの成長産業化、地域ブランドの戦略的プロモーションなどにより、県外、さらには国外から外貨を獲得し、それが県内経済を潤していく好循環を作っていく必要があります。

また、明治期の中央本線、昭和期の中央自動車道のように、本県は、 県外との新たな交通手段が確立したことを契機に、大きく発展してお り、リニア中央新幹線の開業により東京や名古屋との時間距離が大幅 に短縮されること、中部横断自動車道の開通により、太平洋と日本海 を結ぶルートの結節点になるという機会を最大限に活用する必要があ ります。

このため、

- やまなしを牽引する産業の育成(政策1)
- 観光産業の振興(政策2)
- ・農業の成長産業化(政策3)
- ・林業の成長産業化(政策4)
- ・地場産業や経済を循環させる産業の強化(政策 5)

といった5つの政策により、本県経済の活性化 を図ります。



出典:2040年への手紙~山梨県総合計画の目指す未来~

# やまなしを牽引する産業の育成







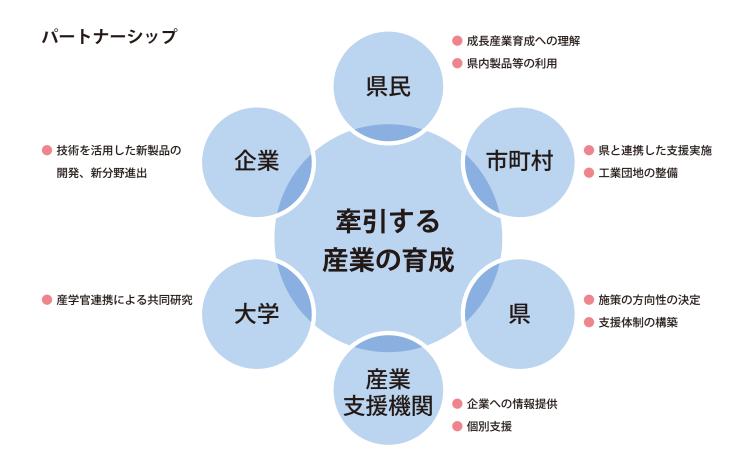




## 政策の基本的な考え方

世界的に進んでいる第4次産業革命は、これまでのものづくりの方法を大きく変え、産業構造やさらには社会構造を変革していくとされています。そのため、本県の基幹産業である機械電子産業の優れた技術の蓄積を生かしながら、新たな技術等を取り入れ、今後も成長が期待されている医療や健康に関連した産業や、次世代のエネルギーに関連した産業などを育成するとともに、起業の促進を図ります。

また、成長が見込まれるアジア諸国や日本における成長の中心である東京と、中部横断自動車道やリニア中央新幹線により、大幅に時間距離が短縮し、物流環境をはじめ、ヒトやモノが迅速に移動可能となる環境が整備されるメリット、観光資源としての富士山の優位性などを最大限活用して民間資本の誘致などを進めるとともに、オリンピック・パラリンピックの開催を起爆剤とした県内産業の活性化やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進などにより、次代を担う産業の育成を図ります。



## 期待される政策効果

本県産業の特長や東京に近接しているというメリットなどを生かした成長産業の育成、集積が進み、県内経済の活性化と新たな雇用の場の確保が実現しています。

# 1 医療機器関連産業の集積

## 施策の目指す姿

#### 現在

甲府市を中心に医療機器関連企業が立地する とともに、機械電子産業の医療機器関連分野へ の参入に向けた取り組みが進められている。

H30

医療機器関連分野への参入企業数

**61**<sub>社</sub>

## 将来

医療機器関連産業の集積を目指す、メディカル・デバイス・コリドー構想が実現している。

R4

医療機器関連分野への参入企業数

**100**社

## 施策の概要

医療機器関連産業の集積を促進するため、専門支援組織のメディカル・デバイス・コリドー推進センター を設置し、中小企業等の医療機器関連分野への進出を支援します。

〈成長産業推進課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
メディカル・デバイス・コリドー推進計画の策定	策定				
機器開発や部品材料供給支援による中小企業等の参入促進		センター設	置・支援		
静岡県との連携による集積促進	協定締結	連携事業の実	施		

<sup>\*</sup>メディカル・デバイス・コリドー

中央道~東富士五湖道路に中部横断自動車道を加えた沿線地域をコリドー(本県全域を巡る回廊)と捉える。

# 2 水素・燃料電池関連産業の集積

## 施策の目指す姿

#### 現在

山梨大学などの研究開発の優位性を生かし、 中小企業等の水素・燃料電池関連分野への参入 が進められている。

H30

水素・燃料電池関連分野への参入企業数

**50**社

## 将来

山梨大学などの研究開発の優位性を生かし、 水素・燃料電池関連産業が本県の成長産業として 集積されている。

R4

水素・燃料電池関連分野への参入企業数

**70**社

## 施策の概要

2050年カーボンニュートラル実現に向け成長が期待される水素・燃料電池関連産業の進展を図るため、国内外を代表する研究・評価機関を集積するとともに、中小企業等の本産業への進出を支援します。

〈成長産業推進課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体的な事業	R1	R2	R3	R4	
水素・燃料電池関連産業の先端的な評価・研究の推進	実施				
技術研究組合 FC-Cubic の本県移転		移転合	意	移転	
中小企業等の水素・燃料電池関連分野への参入促進	支援				

\*技術研究組合 FC- Cubic

日本を代表する水素・燃料電池の研究・評価機関

## 3 企業立地の促進

## 施策の目指す姿

#### 現在

大手化粧品メーカーや木材加工メーカーなど、本県への立地が進んでいるが、県内経済の活性化のため、市町村等と連携し、更なる企業立地を促進している。

#### H30

地域未来投資促進法(ものづくり)に基づく 事業者の立地計画の承認件数

33件 (H29-30 累計)

## 将来

製造業に加えて、物流業やサービス業など、 幅広い産業について、本社機能の移転を含めた トータルな企業立地が進み、雇用の確保及び県 内経済の活性化が図られている。

#### R4

地域未来投資促進法(ものづくり、物流等)に基づく 事業者の立地計画の承認件数

39件 (R1-4累計)

## 施策の概要

雇用の確保や県内経済の活性化を図るため、工業団地の整備を行う市町村等を支援するとともに、地域未 来投資促進法に基づく物流等に関する基本計画の策定や、各種の支援制度並びに法令等に基づく税制優遇等 により、本県への企業立地や事業の拡大を促進します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、会社機能の分散等の新たな動きに対応した支援制度の新設により小規模オフィスの移転等を促進します。

〈成長産業推進課/産業振興課〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画)	
呉仲内は事業	R1	R2	R3	R4
市町村等の工業団地整備への支援	支援			
地域未来投資促進法に基づく物流等に関する基本計画の策定	策定			
事業者の立地計画策定への支援	支援			
立地企業に対する資金面の支援	制度検討	支援		
小規模オフィス移転等に対する資金面の支援		<b>態樹</b> 支援		
法令に基づく税制優遇等による立地企業に対する支援	支援			
商工業振興資金による金融支援	支援			

# 4 リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

リニアやまなしビジョンに示されたリニアがある山梨が目指す姿の実現に向けて、テストベッド誘致等の施策を進めている。

#### R1

リニアやまなしビジョンの策定



#### 将来

民間資本等の誘致や駅周辺整備などにより、 県内経済の活性化、豊かな県民生活が実現して いる。

#### R4

民間資本等によるテストベッド誘致の具体化、防災力 の強化、駅前エリアの整備が進められている。

## 施策の概要

リニア開業を契機に県内経済の活性化を図るため、R2年3月に策定したリニアやまなしビジョンに基づき、 地域特性を活かしたテストベッドの聖地化に向けた取り組みを進めるとともに、災害に強いリニアを活かし た防災力の強化、駅前エリアなど開業に向けて特に必要となる社会基盤の整備を行います。

また、建設工事を予定どおり進めるため、計画的に用地取得を進めます。

〈リニア未来創造・推進課/防災危機管理課/道路整備課/高速道路推進課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
呉仲別な事業	R1	R2	R3	R4	
リニアやまなしビジョンの策定	策定				
テストベッドの誘致		推進			
国の防災バックアップ機能の誘致		推進			
駅前エリアの整備		推進			
リニア中央新幹線の用地取得	実施				

第 **3** 章

# 5 起業(創業)支援の充実・強化

## 施策の目指す姿

現在

経営に関する知識や経験が相当程度ある者が 起業している。

H30

県支援による起業

63件/年

将来

幅広い層で起業の機運が高まり、次々と起業 家が誕生し、大きく成長していく環境が創出さ れている。

R4

県支援による起業

80件/年

## 施策の概要

本県における起業(創業)を促進し、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における二拠点居住や移住にもつなげるため、機運の醸成やノウハウの提供、資金面の支援を行うとともに、産学官金連携による支援体制を強化します。

〈成長産業推進課/産業振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
具体的な事業	R1	R2	R3	R4	
起業に向けた機運の醸成	実施				
起業のためのノウハウの提供や専門家による伴走支援	支援				
起業に対する資金面の支援	支援				
県外からの移住を伴う起業・創業に対するオフィス設置等へ の支援		制度検討 支援			
会社設立に係る費用の実質無償化		支援			
産学官金連携による支援体制の強化	実施				

# 6 東京オリンピック・パラリンピックへの対応

## 施策の目指す姿

#### 現在

令和3年6月26日・27日の聖火リレー、 同年7月24日・25日の自転車競技ロードレー スの開催に向けて準備を進めている。



#### 将来

聖火リレーやロードレースの開催を通じ、県 民の郷土に対する誇りや愛着心が醸成されると ともに、本県の魅力が発信されることにより、 国内外に多くの山梨ファンが生まれている。

#### **R3**

聖火リレーや自転車競技ロードレースが 円滑に実施された。

## 施策の概要

自転車競技ロードレースの開催や事前合宿の円滑な実施に向けた準備を着実に進め、大会開催を契機に本 県の魅力を世界へ発信し、地域の活性化につなげていきます。

〈オリンピック・パラリンピック推進課〉



# 7 スポーツによる地域振興 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用)

## 施策の目指す姿

#### 現在

令和3年7月24日・25日の自転車競技ロードレースの開催や事前合宿(R3年2月末現在:10市町村11競技)の受け入れに向けて、県及び関係市町村において準備を進めている。



#### 将来

継続的なスポーツ合宿やイベントの開催により、地域に賑わいがもたらされており、関連ビジネスが集積・拡大している。

#### R4

スポーツによる地域振興のための取り組みが 行われている。

## 施策の概要

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を、やまなし変革の起爆剤とし、その後の持続的な発展につなげるため、大会及び事前合宿、関連イベントの円滑な実施に取り組み、大会会場地及び合宿地としての本県の認知度やステイタスの向上を確かなものとするとともに、スポーツが成長産業として地域経済を活性化し、地域振興に結びつくような取り組みを進めます。

〈オリンピック・パラリンピック推進課/スポーツ振興課/市町村課〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画)	
	R1	R2	R3	R4
ホストタウンに登録した市町村等が行う環境整備や事前合宿、 機運醸成等の支援	支援			
日本代表強化合宿の誘致	実施			
スポーツ成長産業化戦略の策定・推進		策定	推進	

# 8 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

ICTの利活用が進みつつあるが、部分的な活用にとどまったり、蓄積されたデータが十分に活用されていないことから、社会の様々な分野における変革に結びついていない。



## 将来

社会の隅々までICTの利活用が浸透し、蓄積されたデータが有効に活用され、社会全体の変革、デジタルトランスフォーメーションが進んでいる。

R4

DX に資する実証実験等の累積事業数

5件/年

## 施策の概要

ICTの利活用や蓄積されたデータの有効活用により、社会全体の変革を促すため、デジタルトランスフォーメーション推進の基本計画を策定し、産業、暮らし、行政の3つのDXを進めます。

〈DX推進室/情報政策課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
デジタルトランスフォーメーション推進の基本計画の策定、 見直し		策定	見直し	見直し	
基本計画に基づく事業の実施			実施		

# 観光産業の振興





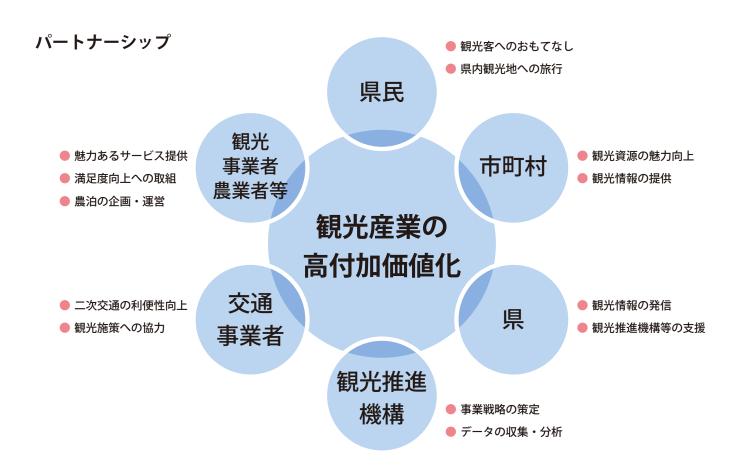






## 政策の基本的な考え方

本県には、世界遺産である富士山をはじめ、御嶽昇仙峡など4つの日本遺産や、身延山等の歴史的な文化資産や歴史的建造物、地元特産の食材や料理、県内各地にある温泉といった観光資源が豊富にありますが、観光消費額の拡大に向けては、観光産業の更なる高付加価値化に努めるとともに、安心と信頼を本県観光の新たな付加価値とするための取り組みも必要です。そのため、感染症に強い観光地づくりを進めるとともに、これまであまり活用されなかった文化芸術資源をはじめとする山梨の強みを生かした地域資源の磨き上げや、最先端技術の利活用・他分野との連携等による付加価値の高いサービスの創出に努めることで、観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」を向上させるとともに、コト消費・トキ消費\*35に対応した観光推進、観光 MaaS の整備、さらには今後回復が期待されるインバウンド観光客の受け入れ環境の強化にも取り組んでいきます。



# 期待される政策効果

県内の観光資源の魅力が高まることで、観光消費額が増加し、観光産業の収益性が向上しています。

\*35 単に名所旧跡を見たり、特産品を買うだけでなく、その土地ならではの伝統や習慣、食文化に触れたり、人々との交流を通じて、新しい発見や体験を求めることを重視した旅行のスタイル

# 1 受入環境の整備

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県を訪れる観光客数は増えているものの満足度は低く消費額は低迷している。

また、観光客をお迎えする県民の地域への愛着度も全国最低レベルにある。

H30

観光客満足度

41%



#### 将来

県民のホスピタリティ、事業者のサービスレベル、県内各地の観光スポットの整備状況など、いずれも全国最高水準となり、観光客の満足度も上がっている。

R4

観光客満足度

**50**%

## 施策の概要

地域全体で温かく観光客を迎えるため、住民の郷土教育やおもてなしに主体的に取り組む人材の育成、美 しい景観づくり、市町村等が行う安全・安心・快適な観光施設整備への支援の実施、ユニバーサルデザイン 化の推進、インバウンド観光客に対応した観光資源多言語化などを進めます。

〈観光文化政策課/観光資源課/観光振興課/県有林課/建築住宅課〉



## 2 地域資源の活用

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県への観光客は、自然や温泉を目的にしている人が多く、食や土産物などを目的としている人が少ない。

また、民間シンクタンクが行った旅行満足度の 調査でも、地元ならではのおいしい食べ物に満足 を感じた人の割合が全国 39 位と低迷している。

### H30

・観光客一人あたり平均消費額

10,616 PA 861 FA

迷している。



#### 将来

本県の魅力的な地域資源を活用した着地型 観光や夜の魅力を楽しむナイトタイムエコノ ミー、富裕層を対象としたラグジュアリーツ アー、山梨ならではの新たな食の提供など、本 県の地域資源を余すところなく活用した観光メ ニューが提供されている。

#### R4

・観光客一人あたり平均消費額

12,000 ₱ 970 ₺

・延べ宿泊者数

## 施策の概要

・延べ宿泊者数

コト消費型・トキ消費型といった観光ニーズの多様化や旅行形態の変化に対応するため、魅力ある地域資源の磨き上げとともに、富裕層を含め、旅行者のニーズに適した体験型プログラムを組み込む着地型観光などの推進に取り組みます。

〈観光文化政策課/観光振興課/観光資源課〉

	、既儿文儿以农林/ 既儿派兴林/ 既儿良你林			
具体的な事業		工程表(年度	医別事業計画)	
呉仲町は事業	R1	R2	R3	R4
峡東地域ワインリゾート推進協議会による構想に基づく事業	実施			
日本遺産(葡萄畑が織りなす風景)の事業を活用した プロモーションの実施	実施			
富士川地域歴史・文化ツーリズム推進会議による構想 (R1 年度まで) に基づく事業	実施			
峡南歴史・文化ツーリズム構想等の検証及び R2 年度以降のあり方の検討・支援	検証検討	実施		
地域資源を活用した体験メニュー等の開発支援	検討	支援		
アクティビティ体験の開発及びプロモーション		開発	プロモーション	
信玄公生誕 500 年を契機とした全県への誘客促進	検討	実施		
アニメや映画等のコンテンツを活用した誘客の促進	実施			
中部横断自動車道開通の好機を生かす峡南地域における 観光資源の磨き上げ		実施		

# 魅力が伝わる情報発信

## 施策の目指す姿

#### 現在

旅行ニーズの多様化やスマートフォンの急速 な普及を背景に、インターネットを中心に様々 な方法による観光情報の取得が行われている が、情報発信のデジタル化やオウンドメディア の活用が十分ではない。



富士の国やまなし観光ネットアクセス数 944万 PV



#### 将来

通信機器、通信環境の革新、SNSの普及な ど情報の受発信を取り巻く環境の変化に的確に 対応し、旅前(たびまえ)、旅中(たびなか) など観光客の多様なニーズに応じ、必要な情報 が容易に取得できるようになっている。

R4

富士の国やまなし観光ネットアクセス数 1,200万PV

## 施策の概要

本県観光の魅力が国内外の観光客に正確に伝わるよう、情報発信技術の活用や、オンライントラベルエー ジェントとの連携強化による効果的な情報発信に取り組むとともに、市場特性に応じた国際観光プロモーショ ンや多様な国際交流の推進に取り組みます。

〈観光振興課/国際戦略G〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画)	
共作的な事業	R1	R2	R3	R4
「富士の国やまなし観光ネット」による情報発信	実施			
外国人誘客促進アプリシステム「FUJISAN ACTIVITIES」 の運用管理	実施			
オンライントラベルエージェントと連携した海外への情報発信	実施			
友好関係を構築した国・地域を対象としたプロモーション	実施			
日本政府観光局と連携した旅前の情報発信	実施			
海外からの研修員の受入による国際交流の推進	実施			

# 4 観光産業の生産性向上等の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

インバウンド需要の取り込みなどで県内の観 光客数は増加しているが、観光消費額は伸び悩 んでいる。

また、宿泊業・飲食サービス業従事者一人あたりの付加価値額は全国9位と比較的上位に位置しているが、まだまだ伸びしろがある。

#### H30

• 観光消費額

4,001億円

・宿泊業・飲食サービス業従事者 一人あたりの付加価値額 223 万円

### 将来

国内外から、多くの観光客が本県を訪れ、誰もがその地域の魅力を満喫することで、観光客の来県頻度の増加や滞在期間の延伸などにつながり、観光消費額が増大するとともに、ホテル等の生産性が向上し、従業員一人あたりの付加価値額は、全国トップレベルになっている。

# R4

- ・観光消費額
- ・宿泊業・飲食サービス業従事者 一人あたりの付加価値額

4,500億円

**260**万円

## 施策の概要

裾野が広い観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」を高めるため、観光産業の生産性の向上、観光人材の育成などに取り組むとともに、他産業との連携強化による経済波及効果の拡大に取り組みます。

〈観光文化政策課/観光振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
共体的な争未	R1	R2	R3	R4
地域未来投資法に基づく地域経済牽引事業への支援	実施			
ビッグデータを活用した外国人観光客動態・消費動向調査	実施			
調査結果を活用したプロモーション等	実施			
DMO による観光事業者の収益力向上支援	実施			
平日、閑散期における誘客促進	実施			
県産品の消費拡大・PR	実施			

<sup>\*</sup> DMO (Destination Management Organization)

自然、食、芸術、風習、風俗など地域の観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人

# 5 地域経済を支える観光の再生と新たな展開への支援

## 施策の目指す姿

#### 現在

新型コロナウイルスの感染拡大により国内外からの観光客が大幅に減少し、観光産業は深刻な打撃を受けている。また、人々の旅行に対する意識や旅行に求める価値観が変化し、感染症対策を前提とした新しい観光スタイルへの対応が求められている。

# H30

・観光客一人あたり平均消費額

10,616<sub>円</sub> 861<sub>万人</sub>



#### 将来

安全・安心を提供し、他県と差別化されたハイクオリティな本県の観光地を目指し、国内外から多数の観光客が来県している。また、働き方改革の推進によるワーケーション等の需要を取り込むなど、新たな観光ビジネスが地域と連携して展開され、本県全体の魅力が向上している。

#### R4

・延べ宿泊者数

・観光客一人あたり平均消費額

12,000 ₽ 970 ₹A

# 施策の概要

・延べ宿泊者数

本県の観光産業の再生に向け、落ち込んだ観光需要を喚起するとともに、安心で信頼される環境整備や、新たな観光コンテンツの開発、本県ならではの美食ブランドの創造など、観光の高付加価値化に取り組みます。また、働き方改革の推進を踏まえた新たな観光ビジネスの展開支援やインバウンド再開を見据えた準備を進めます。

〈観光文化政策課/観光振興課/観光資源課/世界遺産富士山課/文化振興・文化財課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
呉仲吖仏争未	R1	R2	R3	R4	
落ち込んだ観光需要の喚起		実施			
感染症に強い観光地づくりの推進		支援			
国際競争力の高い魅力ある観光コンテンツの充実と 本県オリジナルの美食ブランドの創造		推進			
新しい旅のスタイルへの対応及び 新たな観光ビジネス展開への支援		支援			
中央日本4県(山梨・静岡・長野・新潟)との連携強化		推進			
インバウンド回復に備えた準備(環境整備・PR 等)		実施			

## 6 観光DXの推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

観光における DX (デジタルトランスフォーメーション) は、先端技術の活用による観光コンテンツの高付加価値化や観光サービスの変革など観光消費額を押し上げる取り組みとして重要であるとともに、交通機関や観光施設等の混雑回避による分散型観光の推進、非接触型サービスの導入促進などウィズコロナ・ポストコロナ時代への対応として積極的な推進が求められる。



観光 DX の推進により、県内では観光客の行動に関するビッグデータや AI を活用した課題解決型の取り組みが積極的に行われ、個々の観光客のニーズに対応した、快適でクオリティの高いコンテンツやサービスが提供されており、感染症に強い地域としての評価も確立した本県は、国内外から多くの人々が何度も訪れる観光地になっている。



R4

観光 DX による観光サービスが提供されている。

## 施策の概要

一次交通と二次交通や様々な観光事業者等と連携し、シームレスな移動、予約・決済等の一元化・キャッシュレス化等を実現する「やまなし観光 MaaS」の整備などによって、観光客の利便性・快適性の向上や、ウィズコロナ・ポストコロナ対応の新しい観光コンテンツの魅力向上を図るなど、DX 活用により観光の高付加価値化を進め、国内外からの一層の集客と長期滞在・県内周遊の促進等に取り組みます。

〈観光文化政策課/観光振興課/観光資源課/世界遺産富士山課/文化振興・文化財課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
やまなし観光 MaaS の整備	整備		運用		
AR(拡張現実)等最新技術を活用した体験型文化観光の充実		開発・実施			
DX の推進による観光サービスの変革と観光需要の創出		推進			

# 7 観光振興を通じた県内経済活性化 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用)

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県は、世界遺産富士山をはじめとする景勝地や質の高い県産品など、魅力的な観光資源を有しており、平成30年の本県観光入込客数は、前年から17.2%増加の約3,769万人と国内外から多くの観光客が訪れている。



#### 将来

国内外における本県認知度の向上により、更なる観光客の増加及び県産品の高付加価値化が 実現している。

#### R4

国内外において本県の観光資源や県産品の認知度が向上している。

## 施策の概要

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を、やまなし変革の起爆剤とし、その後の持続的な発展につなげるため、観光資源、県産品など本県の魅力の積極的な情報発信や磨き上げに取り組み、大会時に東京周辺を訪れる国内、国外の観光客を本県に取り込むとともに、県産品の認知度向上を図っていきます。

〈オリンピック・パラリンピック推進課/観光振興課/県有林課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
呉仲切る事業	R1	R2	R3	R4
大会を契機とした本県の魅力発信	実施			
県内での事前合宿が多いフランスを対象とした ファムトリップの実施	実施			
地域通訳案内士の活用の促進	支援			
選手村で使用された部材を活用した県産材 PR	準備	準備・活用	活用	

**3**章

## 8 サイクル王国やまなしの実現

## 施策の目指す姿

#### 現在

東京五輪自転車競技ロードレースが本県内で 行われることから、自転車に対する関心が高ま りつつあり、富士北麓地域においてはサイクル ネット構想 (H28.3) が策定され、自転車通行空 間の整備によって、一定の効果を得ているが、 県内全域で展開するには至っていない。

#### H30

山梨県自転車活用推進計画の策定に着手



#### 将来

「サイクル王国やまなし」が県民に浸透する とともに国内外にも認知され、多くのサイクリ ストや観光客などが来県し、ロードレースやサ イクリングを楽しんでいるなど、誰もが安全で 快適に自転車を活用し、観光やまちづくりなど に生かされている。

#### R4

自転車活用推進計画に基づく具体的な取り組みが進み、 富士北麓エリア以外の地域でも、モデルルートが設定 され、受入環境や通行空間の整備が進んでいる。

## 施策の概要

東京オリンピックの自転車競技ロードレースコース等を活用し、本県への誘客を促進し地域活性化につな げるとともに、自転車の安全で適正な利用等を促進し、「サイクル王国やまなし」を実現するため、自転車利 用環境の整備や、観光資源を活用した魅力づくりとインターネット等を通じた情報発信、受入環境の形成、 自転車を活用した健康増進やスポーツ振興、安全適正利用の促進等に取り組みます。

〈道路整備課/交通政策課/観光振興課〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画)	
共体的な事業	R1	R2	R3	R4
山梨県自転車活用推進計画の策定・推進	策定	推進		
自転車利用環境の整備	検討・整備	整備		
安全適正利用及び保険加入促進対策の実施	検討	実施		
「富士の国やまなしを全力で走る +」 サイト等における PR	実施			
百坂やまなし・ヒルクライムツーリズムの推進	整備	推進		

<sup>\*</sup>百坂やまなし・ヒルクライムツーリズム

本県の山に囲まれた環境を活かした坂道を100坂選定し、ヒルクライム(坂を自転車で上る)によるツーリズムを推進

# 9 南アルプス観光の促進

## 施策の目指す姿

## 現在

南アルプス地域は、標高日本第2位の北岳をはじめとする日本有数の山々を有しており、ユネスコエコパークに認定されるなど豊かな自然と固有の歴史・文化といった観光資源に恵まれているが、観光客数は富士北麓地域と比較して約1/10で、登山や道の駅の利用が主な観光目的となっており、多様な観光資源を生かしきれていない。

#### H30

・早川芦安連絡道路を整備するための工事用道路を施工中

#### 将来

ユネスコエコパークにおける核心地域、緩衝 地域、移行地域のそれぞれの観光資源の活用に ついて、国、県、市町村、民間事業者等が連携 して取り組み、付加価値の高い観光地として幅 広い層の誘客が図られている。



#### R4

- ・南アルプス観光振興ビジョンに基づき、各関係機関が グレードアップに取り組んでいる。
- ・早川芦安連絡道路のトンネル工事に必要となる道路改 良の完成

## 施策の概要

南アルプス観光のグレードアップを図るため、南アルプス観光活用検討委員会を設置し、南アルプスの環境保全を考慮した上で、ビジョンの作成や環境整備、関係機関の取り組みについて検討を行うとともに、南アルプス地域へのアクセス、災害時の避難や救援、物資輸送等を支える交通基盤を計画的に整備します。

〈観光資源課/道路整備課/治山林道課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
呉	R1	R2	R3	R4	
南アルプス観光活用検討委員会における検討・ 観光振興ビジョンの作成	実施				
ビジョンに基づいた事業等の実施		実施			
早川芦安連絡道路の整備	整備				
南アルプス林道の整備	整備				

# 10 「ワイン県」宣言を活用した観光振興

**10,616**<sub>H</sub>

## 施策の目指す姿

#### 現在

近年、世界的に評価が高まっている県産ワイ ンは、「ワイン県」宣言により注目度が増して いる。



将来

ワイン県としての認知度が高まることで、国 内外から県産ワインを目的に本県を訪れる観光 客が増加し、他の地域資源にもその効果が波及 することで、観光産業の収益力向上が実現。

R4

観光客一人あたりの平均消費単価

**12,000**<sub>P</sub>

## 施策の概要

観光客一人あたりの平均消費単価

H30

「ワイン県」宣言や日本遺産(日本ワイン 140 年史)を契機に、本県への誘客及び県産ワインの高付加価 値化を図るため、本県のワインの魅力を全国に向けて情報発信していきます。

令和2年7月に、「Cave de ワイン県やまなし」としてリニューアルしたアンテナレストランを首都圏 におけるワイン県の魅力発信拠点として、県産食材を使用した料理の提供、物販を行っていきます。

〈観光振興課〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画)		
	R1	R2	R3	R4	
「ワイン県」宣言を契機にした PR 事業	宣言 実施				
「Cave de ワイン県やまなし」の運営		[2]-7   運営			

# 11 世界文化遺産富士山の普及啓発

## 施策の目指す姿

#### 現在

富士山世界遺産センターを整備し、世界遺産 富士山の顕著な普遍的価値を普及するため、各 種事業を実施している。

H30

世界遺産センター (北館+南館) 入館者数

50万人/年



#### 将来

世界遺産センターを拠点とした様々な事業の実施により、世界遺産富士山への理解が進み、質の高い観光地としてのブランド化が実現している。

R4

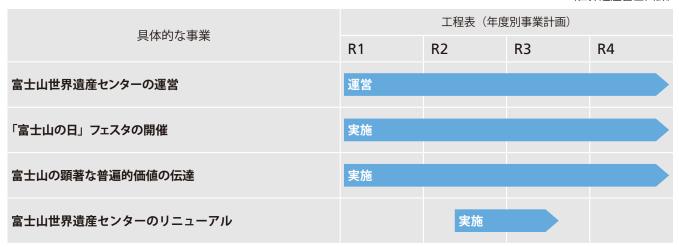
世界遺産センター (北館+南館) 入館者数

71万人/年

## 施策の概要

富士山の顕著な普遍的価値の理解を促進するため、富士山世界遺産センターを中心に、各構成資産をつなぐ巡礼路の活用や「富士山の日」フェスタ、リバース!富士講プロジェクトなどの実施に取り組みます。

〈世界遺産富士山課〉



# 12 富士山の安全対策の実施

## 施策の目指す姿

#### 現在

登山者や来訪者の安全確保を図るため、様々な安全対策を講じているが、外国人登山者や来訪者の更なる増加への対応、噴火等の突発的な自然災害や新型コロナウイルスの感染対策への対応が十分ではない。

#### H30

五合目インフォメーションセンターでの 外国人等相談対応件数 (開山期間中)

9,430<sub>#</sub>

## 将来

多言語化への適切な対応により、外国人も含めた登山者や来訪者に対し、必要な情報発信を可能にするとともに、登山環境や避難環境の整備により、全ての登山者や来訪者の安全確保が実現している。



五合目インフォメーションセンターでの 外国人等相談対応件数 (開山期間中)

H30と同水準を維持

## 施策の概要

富士登山者や来訪者の安全確保を図るため、関係機関と連携した情報伝達の体系化を図るとともに、登山指導やパトロール、救護等の安全対策を実施するほか、感染リスクの低減を図るための取り組みを進めます。

〈世界遺産富士山課/道路管理課〉

日仕幼れ市署		工程表(年度	<b></b> 別事業計画)	
具体的な事業	R1	R2	R3	R4
五合目インフォメーションセンターの設置運営、 富士山登下山道の維持管理	実施			
富士山登山者を対象にしたルール・マナーの 事前指導等の実施	実施			
登下山道標識の多言語表示や道標の管理	管理			
噴火や落石などに備え市町村等が実施する ヘルメットなど安全装備品等への整備支援	支援			
噴石や落石等から登山者を守る退避壕等の設置検討		調査	検討	
救護所及び救助活動のための機器購入支援		実施	支援	
登山者への感染防止意識の啓発		検討・実施		

# 13 登山の安全の確保

## 施策の目指す姿

#### 現在

平成 29 年 10 月、山梨県登山の安全の確保に関する条例を制定し、安全な登山について周知・普及啓発に努めており、登山届の事前提出件数が増加しているが、遭難件数や死者数は高水準で推移しており、県外居住者、40 代以上が大半を占めている。



#### 将来

条例の周知、普及啓発により、安全な登山への意識向上が図られ、登山届の事前提出が定着し、また、山小屋の安全性を高めるための支援を行うことにより、登山の安全の確保が図られる。さらに、継続的な山岳遭難救助訓練により救助技能が向上している。

#### R4

条例の周知、普及啓発により、安全な登山への意識が 向上している。

## 施策の概要

登山の安全の確保を図るため、条例の周知・普及啓発を進めるとともに、厳冬期(12月から翌3月)の間は富士山、八ヶ岳、南アルプスの山域の登山口で登山届の提出指導などを行います。

また、感染症対策のため、山小屋の3密を解消するための支援等を行い登山の安全の確保を推進します。

〈観光資源課/警:地域課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体的(4事業)	R1	R2	R3	R4	
安全登山推進会議の開催	開催				
厳冬期における登山口指導	実施				
山岳遭難救助訓練の実施	強化	実施			
登山道点検パトロールの実施		実施			
山小屋施設が行う感染症対策への支援		支援			

# 14 伝統的観光地の再活性化

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県の観光入込客数は、インバウンド客の増 加等により、富士・東部地域を中心に順調な伸 びを示している。一方、国中地域には、停滞ぎ みの観光地が点在し、地域偏差が生じており、 本県を代表する伝統的観光地もその例外ではな い。



### 将来

観光地の再活性化に向けて、地元自治体を主 体とする協議会で検討した具体的な取り組み等 が実施され、観光入込客数は順調な伸びを示し、 最盛期の賑わいを取り戻している。

## R4

対象の観光地において、具体的な施策等の検討結果に基 づき、各々の立場において取り組みが進められている。

## 施策の概要

観光産業を県内産業の稼ぎの柱とすべく、観光入込客数や観光消費額の停滞に伸び悩む伝統的観光地の再 活性化を図るため、地元自治体を主体に、観光事業者等の関係団体や、有識者等で構成する会議を設置・開 催し、具体的な施策等を検討するとともに、当該検討結果に基づき、それぞれの立場において取り組みの支 援を行います。

〈観光文化政策課/観光資源課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
御嶽昇仙峡(日本遺産)の再活性化の検討・支援	検討・支援				
石和温泉郷の再活性化の検討・支援		検討・支援			

# 15 文化観光の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

旅行者の消費行動が、日本の文化や自然等を体験・体感する「コト消費」へシフトする中、多くの魅力的な文化芸術資源を保有する本県では、その魅力を活用して観光振興や地域活性化に取り組むとともに、文化芸術の更なる振興(活性化)につなげていくことが必要である。



#### 将来

県内全域で、豊かな自然や食などとともに文 化芸術に触れ理解を深めるプログラムなどによ り誘客の取り組みが行われ、国内外からの観光 客の増加が、地域経済の活性化につながり、そ の経済効果が文化振興に再投資される好循環が 生み出されている。

#### R4

本県の文化芸術資源を、豊かな自然や食などとともに 総合的に体感できる付加価値の高い文化観光モデルが 創出されている。

## 施策の概要

山梨県に分布する文化芸術資源を観光資源として活用して誘客力を高める取り組みを進めるため、様々な 分野と連携、協働しながら、文化財など文化芸術資源及びその中核となる美術館等博物館施設の磨き上げを 行うとともに、多言語化や交通アクセスの向上など来訪者の利便性を高め、豊かさの実感につながる文化観 光を推進します。

〈観光資源課/文化振興・文化財課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体的な事業	R1	R2	R3	R4	
美術館等が保有する文化芸術資源等を活用した 体験型文化観光の推進		実施			
無形の文化財など多様な文化財の保存と活用の促進			実施		
日本遺産(星降る中部高地の縄文世界)を活かした 観光地域づくり	実施・支援				
神社仏閣等の文化財をつなぐ歴史の道を活用した ツーリズムの推進		実施			

# 16 森林の保健休養機能の活用

## 施策の目指す姿

#### 現在

森林の保健休養機能への期待が高まっている ものの、地域と一体となった取り組みが十分に 行われていない。

#### H30

森林公園、森林文化の森、 清里の森の利用者数

713 千人/年

森林公園等の再整備や多様な活動プログラム の提供などにより、森林が憩いや癒やし等の場 として地域の活性化に寄与している。

将来

#### R4

森林公園、森林文化の森、 清里の森の利用者数

787 千人/年

## 施策の概要

観光・レクリエーション利用を促進し、ウィズコロナ・ポストコロナ社会に対応しつつ地域の活性化を図 るため、森林公園や森林文化の森などにおいて、地域の福祉・観光等、様々な分野と連携した森林利用プロ グラムの提供や新たなニーズに対応した森林空間活用への支援、金川の森、清里の森の計画的な施設の更新・ 改修などにより、森林の保健休養機能の活用を促進します。

〈林政総務課/県有林課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
呉冲りな事素	R1	R2	R3	R4
森林公園等の利活用	実施			
クライン・ヴァルトの利用促進	実施			
金川の森の長寿命化と森林セラピー基地づくり	実施			
清里の森の再整備	実施			
森林空間活用への支援			支援	

#### \*森林の保健休養機能

森林浴やハイキングなどの森林レクリエーションをすることによって、やすらぎを得たり、心身の緊張をほぐしたりする効果

\*クライン・ヴァルト

森林の観光・レクリエーション利用を促進し地域活性化を図るため、県有林内の「森林文化の森」等に設定した森林レクリエーションの場

# 地域資源を活用した農泊の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

農泊ビジネスに意欲的に取り組もうとする地 区が、地域資源の活用方法やビジネスプランづ くりを模索している。

#### H30

農泊ビジネスプランの策定地区数

5地区 (累計)



## 将来

インバウンドをはじめ、多くの来訪者が農業 体験や地域住民との交流などの農泊を楽しみ、 農山村地域の所得向上と雇用の増大が図られて いる。

## R4

農泊ビジネスプランの策定地区数 15地区(累計)

## 施策の概要

県内各地の農村地域の古民家や伝統食などを観光資源として活用した農泊を推進するため、ビジネスプラ ンの策定等に対し支援します。

〈農村振興課〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画]	
呉仲別な事業	R1	R2	R3	R4
農泊ビジネスプランの策定と取り組みへの支援	支援			
農泊に取り組む団体のネットワーク化と情報交換会の開催	開催			

# 18 農業遺産の活用による農業振興

## 施策の目指す姿

#### 現在

世界農業遺産の認定に向けて保全計画を策定 するとともに、機運醸成のための啓発活動を 行っている。



#### 将来

世界農業遺産への認定により、地域での営農 意欲の高まりや担い手の確保が図られるととも に、観光農園や農村景観を目的に地域を訪れる 人が増加し、地域農業が活性化している。

#### R4

峡東地域の果樹農業システムの保全に向け、農業者や地 域住民など多くの人が保全に携わるようになり、より地 域が活性化している。

## 施策の概要

ぶどうやももなどの果樹農業を将来にわたって維持発展させ、景観の保全を図るため、峡東3市及び関係 団体と連携し、果樹農業システムの保全に向けて取り組むとともに、地域活性化に向けて取り組みます。

〈農政総務課〉



# 19 インフラの価値や魅力の情報発信

## 施策の目指す姿

#### 現在

身近なインフラが持つ役割や必要性が十分に 理解されていない。観光資源としても活用しき れていない。

#### H30

インフラの価値や魅力の情報発信が十分でない。



#### 将来

民間事業者と協働でポータルサイトが運営され、情報発信の充実や民間旅行会社によるインフラツアーが実施されている。

#### R4

ポータルサイト等によりインフラ施設が紹介され観光 資源として活用されている。

## 施策の概要

インフラへの理解を深めるとともに新たな観光資源として県内外からの誘客や地域の活性化を促すため、インフラが持つ役割とその技術的、文化的な価値や魅力についてポータルサイトを開設し情報発信します。 また、効果的・継続的にインフラの魅力を発信できるよう関係機関も含めた組織を立ち上げるとともに、 現場見学会やインフラツーリズムを実施します。

〈景観づくり推進室〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
兴	R1	R2	R3	R4	
ポータルサイトの開設・運営	開設・運営	運営			
魅力発信組織の確立と運営		検討	検討・確立	運営	
現場見学会の開催	開催				
インフラツーリズムの実施	検討	試行	実施		

# 農業の成長産業化







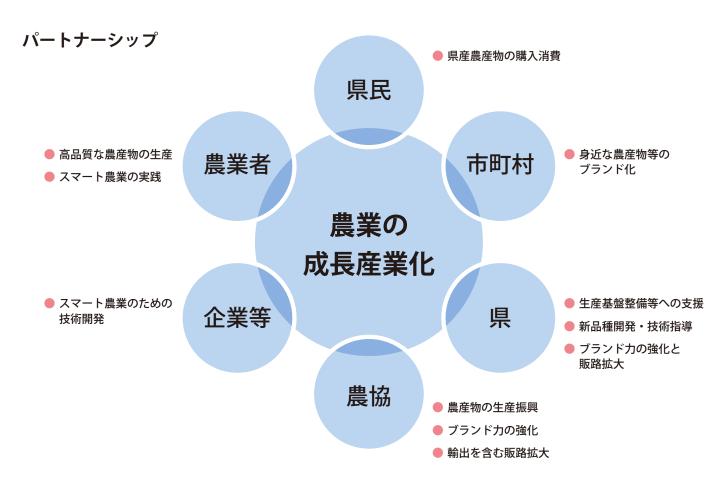




## 政策の基本的な考え方

ぶどうやももなどの果実は、本県の農業生産額の過半数を占める基幹品目となっています。今後は、首都圏などの国内市場に加え、アジア諸国を中心とした海外市場において、一層のブランド強化と販路拡大を進め、高品質で付加価値の高い農産物の生産拡大を図ります。

また、4パーミル・イニシアチブ\*36等地球環境に配慮した農業や、県産の野菜や米、食肉、魚、花きなどのブランド力の強化を進めるとともに、ICT等を活用したスマート農業\*37の研究、普及を進めるなど、生産コストの低減や省力化を進め、収益性の向上を図ります。



## 期待される政策効果

ブランド力が向上し、輸出を含む販路が拡大するとともに、スマート農業が普及し、高品質な県産農産物の生産が拡大することにより、生産者の所得が向上しています。

- \*36 土壌中への炭素貯留により大気中のCO2濃度を低減し、地球温暖化を抑制する国際的な取り組み
- \* 37 ロボット技術や情報通信技術 (ICT) を活用して、省力化・精密化や高品質生産の実現を推進する新たな農業

# 1 ビッグデータを活用したスマート農業の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

農業に関する各種データの蓄積、活用による 省力化技術の研究、IoT等を活用した先進技術 の導入を進めている。



#### 将来

ビッグデータを活用した省力化技術、IoT等を活用した先進技術が開発・普及され、生産性が向上し農業が活性化している。

#### R4

AI 等を活用し、ぶどうの栽培技術をサポートするシステムや病害虫の診断システムなど新たな技術が実用化され、生産の効率化や高品質化が進んでいる。

## 施策の概要

ビッグデータを活用した省力化技術や IoT 等を活用した先進技術を普及するため、ビッグデータの蓄積や IoT 等を活用した先進技術を導入、実証し、農業の収益力向上を図ります。

〈農業技術課/農村振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体的体争未	R1	R2	R3	R4	
気象要因と果樹の作柄の関係解明に向けた調査、 果実データの集積	調査		調査・検証		
AI を活用した野菜の病害虫診断技術の開発	開発		開発・確立	普及	
IoT 等の先進技術の導入、実証	技術導入	実証		普及	
センシング等によるデータを活用した生産性の向上		調査	調査・実証		
スマート農業導入に向けた機器整備等への支援			支援		

\*センシング

センサー等を利用して様々な情報を計測、数値化する技術

## 2 県産農産物等の輸出拡大

## 施策の目指す姿

#### 現在

中国では本県の特産であるぶどう、ももの検 疫条件が未設定であり、輸出ができない状況で ある。

また、輸出の実績がある国や地域においては、 市場における競争が激しいことから、やまなし ブランドの一層の確立に取り組んでいる。

H30

県産果実の輸出額

925 百万円

## 将来

中国等との間で検疫条件が設定され、輸出先 国が拡大するとともに、戦略的・効果的な販売 促進活動の結果、アジア諸国においてやまなし ブランドの認知度が高まっている。

R4

県産果実の輸出額

1,300 百万円

## 施策の概要

県産農産物等の輸出を拡大するため、検疫条件が未設定の中国等へのぶどう輸出の実現に向けて取り組むとともに、輸出の促進に向けた新たな体制づくりと、アジア諸国への戦略的・効果的な販売促進活動を進めます。

〈販売・輸出支援課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
中国等との検疫条件の早期設定に向けて国等へ 要望活動の実施	要望			
輸出促進に向けた新たな生産・流通・販売の枠組みの構築		調査・検討	構築	
輸出拡大に向けた現地調査、マーケティング調査、効果的な プロモーション活動の強化	調査・検討	活動強化		

# 3 オリジナル品種の育成、高品質化の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県農産物のブランド化や農業の生産性の向 上につなげるため、オリジナル品種の育成や高 品質・省力化等に向けた試験研究を進めている。

#### H30

・赤系ぶどう苗木供給本数

· 試験研究成果情報数

### 将来

果樹等のオリジナル品種の産地化や、高品質 化、省力化栽培技術の普及が進み、農業者の所 得向上が図られている。

#### R4

・赤系ぶどう苗木供給本数 **7,000** 本 (累計)

· 試験研究成果情報数

## 施策の概要

本県農産物のブランド化と産地化を進め、農業者の所得向上を図るため、本県農産物のオリジナル品種の 育成、高品質・省力化に向けた試験研究や、販路拡大等を推進するとともに、高品質化や集出荷の効率化に 向けた施設等の整備を進めます。

〈農業技術課/果樹・6次産業振課/販売・輸出支援課/食糧花き水産課/農村振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
果樹等のオリジナル品種の育成	育成			
赤系ぶどう(新品種)の産地化	登録出願	苗木供給		
ピラミッドアジサイ(オリジナル品種)の利用拡大の推進	モデル展示	利用拡大		
農作物の高品質化、省力化栽培技術の開発・普及	開発・普及			
果樹や野菜等の高品質化や集出荷の効率化に向けた 施設等整備支援	支援			

# 4 農業競争力を強化するための基盤整備の推進

## 施策の目指す姿

## 現在

生産条件が不利な農地が多く点在し、生産性 向上及び生産者の所得向上を図る産地の再編整 備が途上にある。

H30

果樹産地等における基盤整備面積

4,294ha



## 将来

果樹産地の再編整備が進み、生産性向上及び 生産者の所得向上が図られている。

R4

果樹産地等における基盤整備面積

4,700ha

## 施策の概要

県産農産物の生産性向上及び生産者の所得向上を図るため、担い手のニーズに対応しつつ、果樹産地等に おけるほ場や農道、用排水路などの農業生産基盤の整備を推進します。

〈耕地課〉

日仕幼れ市署	工程表(年度別事業計画)			
具体的な事業	R1	R2	R3	R4
ほ場、農道等の農業生産基盤整備	整備			
樹園地等の農地の総合的な整備	整備			

# 5 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県の主力果樹であるぶどう、もも、すももは「やまなしブランド」として消費者に認知されているが、野菜やブランド食肉、水産物などは認知度が低い。

県産農畜水産物全般の新たな見せ方によるやまなしのブランド力を強化するため、本県ならではの特徴ある取り組みや PR を始めたところである。

#### H30

・オリジナル品種等出荷量 夢みずき(もも)

22t/年 0t/年

ブラックキング(ぶどう)

389<sub>頭/年</sub>0t/年

富士の介

甲州牛

## 将来

果樹のオリジナル品種やブランド食肉(ジビエ含む)及び、4パーミル・イニシアチブ農産物や富士の介など「やまなしブランド」が、全国の消費者に認知され買い支えられることにより、生産量日本一の果実を牽引役としてブランド力がより一層強化されている。



#### R4

・オリジナル品種等出荷量 夢みずき(もも)

ブラックキング (ぶどう)

甲州牛

富士の介

330t/#

100t/年

500頭/年

## 施策の概要

県産農産物等のブランドを全国に浸透させるため、これまで以上に農業関係団体と連携を深め、民間ノウハウを活用した PR など新たな取り組みや市場、小売店等における販売促進活動の強化を図ります。

〈販売・輸出支援課/農業技術課/果樹・6次産業振興課/畜産課/食糧花き水産課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
SNS などを活用した新たな取り組みによる情報発信等	発信				
「おいしい未来へ やまなし」 によるブランド力の強化			PR 実施		
市場、小売店等へ向けた戦略的・効果的な 販売促進活動への支援	支援				
4 パーミル・イニシアチブ農産物の認証制度の創設と PRの実施		制度創設	PR 実施		
4 パーミル・イニシアチブの普及と全国への展開		実証	普及		
有機農業の拡大支援	支援				
甲州牛等ブランド食肉の生産拡大支援	支援				

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
アニマルウェルフェアの取り組みへの支援		支援		
やまなしジビエのブランド化の推進	実施・支援			
「富士の介」の養殖技術の確立、販路拡大への支援	確立・出荷	本格出荷	販路拡大	

\*おいしい未来へやまなし

県産農畜水産物「やまなしブランド」のキャッチフレーズ

- \* 4 パーミル・イニシアチブ
  - 土壌中への炭素貯留により大気中の CO2 濃度を低減し、地球温暖化を抑制する国際的な取り組み
- \*アニマルウェルフェア

家畜の快適性に配慮した飼養管理を行う国際的な取り組み

# 6 水田のフル活用の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

主食用米の需要が減少傾向にあることを踏ま え、水田をフル活用して、麦や大豆、野菜への 転換が進んでいる。

一方、加工用米、飼料作物等の需要は増えて いるものの、供給量は十分でない。

H30

麦、大豆、加工・飼料用米等の作付面積 337 ha



#### 将来

水田をフル活用し、麦や大豆、そばへの一層 の転換が進むとともに、加工用米、飼料作物等 の作付けが拡大し、需要に応じた供給が行われ ている。

R4

麦、大豆、加工・飼料用米等の作付面積 381 ha

## 施策の概要

水田をフル活用し、需要に応じた麦や大豆、そばへの転換、及び加工用米、飼料作物等の作付けを促進す るため、生産拡大等に取り組む農業者を支援します。

〈食糧花き水産課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
水田フル活用ビジョンの策定・推進支援	策定	支援			
実需者と連携した加工用米等の生産拡大支援	支援				
転換作物等の生産拡大等に必要な機械・施設整備の支援	支援				

## 7 農地集積の促進

## 施策の目指す姿

#### 現在

担い手への農地の集積は、年々増加しているが、集積率は30%台にとどまっている。

また、県内各地に利用されていない荒廃農地が存在している。

## H30

・集積率

38.6% 2,234ha

荒廃農地解消累計面積

#### 将来

荒廃農地が再生され、新規就農者や企業など、 中核となる担い手へ農地が集積・集約化される など、農地が適正利用されている。

#### R4

・集積率

44.5%

• 荒廃農地解消累計面積

2,870ha

## 施策の概要

担い手への農地の集積・集約化を進めるため、農地中間管理機構が行う事業(農地の借り受け・貸し付け、 当該農地の利用条件の改善)や市町村等が行う荒廃農地の再生を支援するとともに、ほ場整備や農道等の基 盤整備を推進します。

〈担い手・農地対策課/耕地課〉

日仕切た事業		工程表(年度	度別事業計画)	
具体的な事業	R1	R2	R3	R4
農地中間管理機構の円滑な運営支援	支援			
農地集積協力者(農地の出し手)への支援	支援			
荒廃農地の解消への支援	支援			
農作業の省力化、効率化に向けた基盤整備の推進	整備			
基幹農道整備の推進	整備			

# 農業の6次産業化の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県は、豊富な農林水産物資源を保有し、農 業生産が行われており、これらを活用した6次産 業化への取り組みが進められているが、県内外 における安定的な販路の確保等が不十分である。

#### H30

6次産業化に新たに取り組む農業者等

92 経営体



#### 将来

県が設置するやまなし6次産業化サポートセ ンターの支援により、6次産業化への取り組み が拡大し、農産物の高付加価値化や販路開拓等 が図られている。

#### R4

6次産業化に新たに取り組む農業者等 132 経営体

## 施策の概要

農産物等の付加価値を高め、農家所得の向上を図るため、やまなし6次産業化サポートセンターを設置し、 専門家による加工技術等のアドバイスや販路開拓・販路拡大支援などを通じて、農業者等が取り組む商品開 発や販路開拓等を支援するとともに直売所等の販売拠点の整備を支援します。

〈果樹・6次産業振興課/農村振興課/耕地課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
専門家派遣等による商品開発や販路開拓などの支援	支援				
6次産業化に取り組む人材を育成する 研修会・インターンシップの実施	実施				
直売所、農産物加工施設等の整備への支援	支援				

# 9 内水面漁業の振興

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県が開発した「富士の介」の養殖効率の向上や、河川・湖沼における水産資源の増大に向けた試験研究、普及指導及び種苗生産を行っている。



**O**t/年

将来

「富士の介」の生産量が拡大し、県内外でのブランド化が図られ、養殖業者の所得が向上している。

また、県内を訪れる釣り客が増加し、河川・ 湖沼の遊漁により地域が活性化している。

**R4** 

「富士の介」出荷量

**60**t/年

# 施策の概要

「富士の介」出荷量

H30

内水面漁業を振興し、養殖業者の所得向上を図るため、県が開発した「富士の介」のブランド化を進めます。 また、観光と連携して河川や湖沼における釣りなどの遊漁の活性化を図るため、水産資源の保全や漁場環境 の改善に向けた啓発活動などに取り組みます。

〈食糧花き水産課/販売・輸出支援課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体別な事業	R1	R2	R3	R4	
「富士の介」の養殖技術の確立、販路拡大への支援	確立・出荷	本格出荷	販路拡大		
養殖用、放流用種苗の生産、供給	実施				
水産資源の保全、漁場環境の改善に向けた啓発活動	実施				
既存養殖業者による「富士の介」の生産拡大と 新たに取り組む養殖業者の掘り起こし			実施		

## 10 家畜の防疫対策

## 施策の目指す姿

#### 現在

豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な 家畜伝染病の予防対策と、発生した時に円滑か つ迅速な対応ができるよう、体制整備を進めて いる。

#### H30

・モニタリング検査数

116件/年

• 防疫演習

・立入検査・指導

4回/年

#### 将来

疾病防止のための各種モニタリング検査や飼 養衛生管理基準の遵守指導の継続実施により、 予防対策が徹底され、また、豚熱等が発生した 時に、円滑かつ迅速な対応が可能な体制が整備 されている。

#### R4

・モニタリング検査数

116件/年

• 防疫演習

4回/年

・立入検査・指導

## 施策の概要

豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病が発生した時に円滑かつ迅速な対応を行うため、 危機管理体制を構築し、疾病対策を推進します。

〈畜産課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
危機管理体制の構築・各種モニタリング検査の実施	実施				
防疫演習の実施・初動体制の強化	実施				
飼養衛生管理基準の遵守指導	指導				

# アクションプラン

**3**章

# 林業の成長産業化













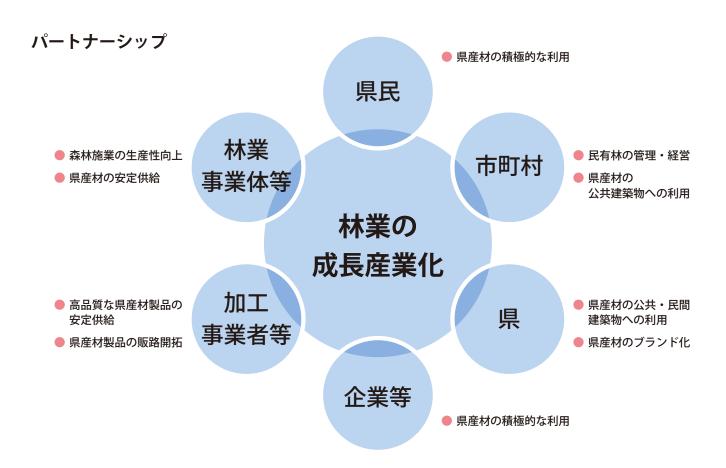




## 政策の基本的な考え方

本県の人工林は、一般的な主伐期である50年生以上の森林が6割を超えているなど、本格的な伐採時 期を迎えており、ウィズコロナ・ポストコロナ社会において、自然の中で働く林業は、就業や転職、移住 を希望する人々の受け皿ともなり得ることから、この充実した資源を有効活用した林業の成長産業化を進 め、魅力ある産業へと押し上げていく必要があります。

このため、ICTを活用した森林施業の生産性向上やスマート林業の普及、木材加工流通施設整備への支 援などによる品質の高い木材製品の安定供給、東京圏や海外などへの新たな販路開拓、公共建築物の原則 木造・木質化や民間建築物への県産材の利用を促進するとともに、川上側の林業と、川中・川下側の木材 関連産業が連携したサプライチェーンの強化を図るなど、「伐って、使って、植える」という森林資源の 循環利用に向けた取り組みを推進します。



## 期待される政策効果

豊かな人工林資源の循環利用により、林業及び木材産業が成長産業化し、新たな雇用の創出や、林業就 業者の所得向上など地域経済全体が活性化しています。

# 1 森林の多面的機能の持続的発揮を図る取り組みの推進

## 施策の目指す姿

現在

森林資源が充実してきているものの、林業の 収益性が低いことなどから、多面的機能が十分 発揮されていない森林も存在する。

H30

木材生産量

201千㎡/年



林業の成長産業化が図られ、森林の多面的機 能が発揮されている。

R4

木材生産量

272 ←㎡/年

## 施策の概要

本格的な利用期を迎えた人工林資源の循環利用による森林の多面的機能の持続的発揮を図るため、森林・林業・木材産業施策の基本方針となる新たな計画を策定し、計画に基づく施策を総合的に推進します。

〈林政総務課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
新たな計画の策定・推進	策定	施策実施			
山梨県森林審議会の意見聴取、点検・評価	意見聴取	点検・評価			
森林・林業に関する試験・研究	実施				

# 2 県産材供給体制の強化

## 施策の目指す姿

#### 現在

県産材の約8割がチップ用途に使用され、価格の高い製材用途での利用は約1割にとどまっている。

H30

製材用途の木材生産量

24 千㎡/年

## 将来

県産材の供給体制が整い、品質の高い県産材製品が低コストで安定的に供給されている。

R4

製材用途の木材生産量

32千㎡/年

## 施策の概要

森林施業における伐採と造林の一貫作業システムやICT等の先端技術を活用したスマート林業の導入などによる生産性の向上や、再造林に必要な苗木の生産力強化などによる森林整備の推進、木材加工流通施設の充実、林業・木材産業関連事業者によるサプライチェーンの構築などにより、県産材の供給体制の強化を図ります。

〈森林整備課/林業振興課/県有林課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体的な事業	R1	R2	R3	R4	
採種園の整備やコンテナ苗生産者への支援等による 苗木生産力の強化	整備・支援				
主伐後の再造林や間伐等による森林の整備	実施・支援				
高性能林業機械の導入などによる森林施業の 生産性の向上支援	支援				
製材・加工施設の JAS 認定取得等に必要な整備に 対する支援	支援				
林業・木材産業関連事業者による サプライチェーン強化への支援	支援				

# 3 県産材需要拡大の推進

## 施策の目指す姿

現在

本県の人工林の多くが本格的な伐採時期を迎え木材として利用可能な資源量は充実しているものの、木材利用量は、低位にとどまっている。

H30

木材生産量

201千㎡/年

将来

県産材が国内外で利用され、森林資源の循環 利用が図られている。

R4

木材生産量

272 ←㎡/年

## 施策の概要

「山梨県県産木材利用促進条例」に基づく基本方針を策定し、公共建築物の原則木造・木質化や、住宅、民間施設等への県産材の利用を促進するとともに、東京圏や海外において、新たな販路の拡大を図ることなどにより、県産材の需要拡大を推進します。

〈林業振興課/県有林課〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画)	
共体的(4事業)	R1	R2	R3	R4
県産材の利用促進のための基本方針の策定	策定			
公共建築物等の木造・木質化の促進	実施・支援			
Yamanashi ウッド・チェンジ・ネットワークを活用した 民間建築物への県産材の利用促進	設立・支援	実施・支援		
人と環境にやさしい多様な県産材製品の開発	支援			
東京圏への販路開拓	支援			
海外輸出の促進	検討	支援		
県産 FSC 認証材のブランド化の促進	実施			
県産広葉樹材の利用促進			実施	

<sup>\*</sup> Yamanashi ウッド・チェンジ・ネットワーク 民間建築物への県産木材の利用を進めるため、県や林業・木材産業関係団体、商工団体などが連携し設立した組織

# 4 森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進

## 施策の目指す姿

## 現在

造林、保育、素材生産等の森林施業を効率的に実施するための林道や森林作業道等の整備が十分進んでいない。

H30

林内路網の整備延長

4,598km(累計)



林道や森林作業道等を活用した効率的な森林 施業が行われている。

R4

林内路網の整備延長

4,778km(累計)

## 施策の概要

木材の搬出や森林施業を効率的に行うための基盤となる、林道や森林作業道等の林内路網の計画的な整備を推進します。

〈治山林道課/森林整備課/県有林課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
林内路網整備計画の策定	策定				
木材を運搬するための林道の整備	実施				
効率的な森林施業を行うための作業道の整備	実施				

# 5 特用林産物の産地化の推進

## 施策の目指す姿

現在

山村地域の収入源となる特用林産物の生産量 が減少している。

H30

クロアワビタケの生産量

0.32t/年



#### 将来

山梨の気候、風土に適した新たな特用林産物が県の特産品の一つとなり、生産者の所得が向上している。

R4

クロアワビタケの生産量

4.00t/年

## 施策の概要

県が商標登録した「山梨夏っ子きのこ(クロアワビタケ)」や「kai 大黄(ダイオウ)」など山梨オリジナルの特用林産物新品種の栽培技術を確立するとともに、生産者の育成、販路の拡大に取り組み、山村地域の活性化に向けた特用林産物の産地化を推進します。

〈林業振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体的な事業	R1	R2	R3	R4	
きのこ新品種の栽培技術の確立	支援				
薬用植物新品種の栽培技術の確立	支援				
特用林産物の販路拡大	支援				
特用林産物生産者の育成	支援				

# 6 木質バイオマスの利活用の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

間伐や主伐により生じる曲がり材や林地残材 などの木質バイオマス資源の利用が進んでいな い。

H30

木質バイオマス燃料用木材供給量

38千㎡/年



## 将来

木質バイオマス発電所や木質ボイラーの燃料 として、木質バイオマス資源が有効に活用され ている。

R4

木質バイオマス燃料用木材供給量 109 千㎡/年

## 施策の概要

木質バイオマスの利活用を推進するため、木質ボイラーやペレットストーブなどの設備や木材チップ加工 施設等の整備を支援するとともに、木質バイオマスの安定供給体制の整備に取り組みます。

〈林業振興課〉

具体的な事業		工程表(年度	[別事業計画)		
	R1	R2	R3	R4	
木質バイオマス利用施設等の整備	支援				
未利用間伐材等の供給体制の整備	支援				

# 地場産業や経済を循環させる産業の強化







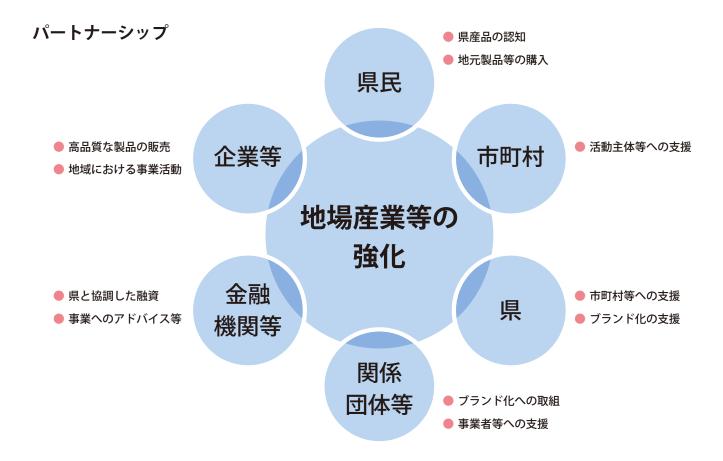




## 政策の基本的な考え方

ワインなどのブランドは国際的に認知されてきており、織物などについてもブランド化が進みつつあります。今後は、高い品質や高度な技術を生かし、海外を含め、更にブランド化を進め、利益率の高い産業へと強化していく必要があります。

また、県内中小企業等の事業継続を図るとともに、様々な産業が県外、さらには国外から獲得した新たな需要による経済効果を地元経済に波及させ、地域経済全体を活性化するため、商業やサービス業など、地域に密着した産業の強化を図ります。



## 期待される政策効果

地場産業のブランド化が進み、付加価値の高い製品として国内外における認知度が高まることで、事業者の売り上げが向上しています。また、地域に密着した産業も強化され、地域の経済循環が進むことで、地域経済全体が活性化しています。

## 1 企業支援の充実

## 施策の目指す姿

#### 現在

県内企業の大多数を占める中小企業・小規模 企業は、地域における雇用の創出などを通じて、 県内経済の発展に貢献しているが、少子高齢化 の進行や人口減少、国内外の企業との競争の激 化などにより、厳しい経営環境に置かれている。

#### H30

経営計画・経営革新計画を 作成した企業

298社/年

#### 将来

意欲ある中小企業・小規模企業が自らの努力 と創意工夫により、社会経済状況の変化に対応 し、新しい価値の創出や生産性の向上を図って いる。

#### **R4**

経営計画・経営革新計画を 作成した企業

1,500 社 (R1-4 累計)

## 施策の概要

本県経済の持続的発展と活性化を図るため、中小企業・小規模企業が行う新技術や新製品の研究開発、経営環境の改善に向けた事業転換や販路開拓などの取り組み、さらには、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進に向けた生産性向上のための先進技術の活用等を支援します。

〈産業政策課/成長産業推進課/産業振興課〉

目伏的大声器		工程表(年度	[別事業計画)	
具体的な事業	R1	R2	R3	R4
「山梨県中小企業・小規模企業振興計画」の改定・実施	実施・見直し	実施		
商工業振興資金による金融支援	支援			
経営計画及び経営革新計画に基づく取り組みへの支援	支援			
研究開発に関する取り組みへの支援	支援			
IoT、AI 等の導入及び活用を支援	支援			

#### \*経営計画·経営革新計画

「経営計画」とは、小規模事業者が、商工会及び商工会議所の支援を受け、自社や自社の提供する商品・サービスの強み、経営方針・目標等をまとめた計画をいう。

「経営革新計画」とは、中小企業者等が、新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図るための経営革新に関する計画であり、中小企業等経営強化法に基づき、知事の承認を受けたものをいう。

## 2 事業承継の促進

## 施策の目指す姿

#### 現在

県内中小企業の後継者不在率が高い水準にある中で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて景気の後退が長引くことにより、事業継続を断念し、廃業を余儀なくされる企業が増加する可能性がある。

R2

事業承継診断を 実施した件数

522件/4-9月

#### 将来

県内中小企業等が親族内・従業員承継や M&Aによる事業承継を進め、雇用、技術等の 経営資源を引き継ぐとともに経営革新に取り組 み、本県経済が持続的な発展を遂げている。

R4

事業承継診断を 実施した件数

4,650件 (R2-4累計)

## 施策の概要

県内中小企業等の事業継続と更なる発展を図るため、事業承継ネットワーク会議を通じた関係機関の連携、 事業承継・引継ぎ支援センターにおける総合的な相談・支援、商工業振興資金の事業承継支援融資等により、 企業の事業承継に向けた取り組みを支援します。

〈産業振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共作的は争未	R1	R2	R3	R4	
事業承継ネットワーク会議を通じた関係機関の連携	連携				
プッシュ型事業承継支援高度化事業による親族内承継支援	支援				
事業引継ぎ支援センターによる第三者承継支援	支援				
事業承継・引継ぎ支援センターにおける総合的な相談・支援			支援		
企業価値簡易算定や引継ぎマニュアル作成等への支援			支援		

**3**章

## 3 地域プロモーション戦略の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

本県の優れた地域資源の認知度やブランド価値を高め、より多くの需要を創出するためのプロモーションは、主に産業分野ごとに実施されており、その効果は産業分野内に留まる限定的なものとなっている。

## 将来

県全体を包括する地域ブランド(理想とする 共通イメージ)を軸とした一体的かつ戦略的な プロモーション活動により、相乗効果や新たな 付加価値が創出され、県全体としてのイメージ が向上し、全ての経済・生活分野において、質 が向上している。

#### R4

様々な産業分野の事業環境のみならず、教育環境、医療環境など、本県の全ての分野において質が向上している。

## 施策の概要

生産者等が創意工夫しながら磨き上げている本県の優れた地域資源の品質価値を包括的に示す地域ブランドを設定して、分野横断的なプロモーションを実施することで、地域ブランドが地域資源の品質価値向上の好循環を生み出す地域プロモーション戦略を推進します。

〈政策調査 G〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
	R1	R2	R3	R4	
地域プロモーション戦略の策定・推進		策定	推進		
地域ブランドのプロモーション		検討	実施		
ブランド価値評価		調査	評価		

# 4 産地のブランド形成の推進

## 施策の目指す姿

#### 現在

県内地場産業の認知度が徐々に高まりつつあり、販路も一部海外に広がっている。

#### H30

県事業により海外への 販路開拓に取り組んでいる 事業者数

99社 (H27-30累計)



#### 将来

産地のブランド力が高まり、世界的な知名度 が向上したことで、国内はもとより、海外販路 の開拓が進み、市場を獲得している。

#### R4

県事業により海外への 販路開拓に取り組んでいる 事業者数

110社 (R1-4累計)

## 施策の概要

地場産業の国内外におけるブランド力を向上させるため、山梨のワインや日本酒、ジュエリー、織物、印章、 印伝等の認知度向上や付加価値を高める取り組みの推進、販路拡大などを図るとともに、伝統工芸品の需要 開拓や後継者育成を行います。

〈産業振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
共体的(4)表	R1	R2	R3	R4	
産地のイメージアップ、販路拡大への支援	支援				
伝統工芸品の需要開拓や後継者育成等への支援	支援				

# 5 ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興

## 施策の目指す姿

#### 現在

山梨ワインの国際的な評価が高まる中、需要 に見合う供給量が確保できていない。

また、日本ワインの需要が拡大する中、原料 ぶどうの生産量が十分に確保されていない。

## H29

・醸造用甲州供給量 5,4

・甲州ワイン生産量

3,495t/年 2,516kL/年

#### 将来

醸造用「甲州」が安定取引されることにより原料が十分確保され、より高品質な甲州ワインが十分に供給されている。

また、本県に適した欧州系品種の導入が進み、品質の高い原料が供給されている。

#### R4

• 醸造用甲州供給量

**3,900**t/年

・甲州ワイン生産量

2,800kL/年

## 施策の概要

山梨ワインの更なる高品質化に向け、ワイン醸造技術の向上などに取り組むとともに、優良系統の苗木の供給等による「甲州」の生産拡大や、本県に適した欧州系品種の選抜・ウイルスフリー母樹の育成と選抜による高品質化など、醸造用ぶどうの生産振興を図ります。

〈産業振興課/果樹・6次産業振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
呉仲的な争耒	R1	R2	R3	R4	
ワインの生産技術の強化支援	支援				
「甲州」の生産拡大	苗木供給			生産拡大	
本県に適した欧州系品種の選抜	フリー化		母樹育成		

## 6 日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立

## 施策の目指す姿

#### 現在

高品質な日本酒への需要が高まっている中、本県に適合する酒米品種の試験研究を行っているが、本県に適合する高品質な酒米品種が少ない。

#### H30

・産業技術センターにおける 醸造技術向上のための 依頼試験・設備利用件数

87件/年

#### 将来

本県に適合する高品質な酒米品種の生産拡大 と酒造メーカーの醸造技術の向上により、更に 品質の高い日本酒が醸造されている。

# F

#### R4

- ・産業技術センターにおける 醸造技術向上のための 依頼試験・設備利用累計件数390件(R1-4 累計)
- ・酒造メーカー等と検討し、本県に適合する新たな 品種が選定されている。

## 施策の概要

日本一の名水の地山梨で造られる日本酒の更なる高品質化に向け、日本酒醸造技術の向上などに取り組む とともに、本県に適合する酒米品種を選定し、原料となる酒米の生産拡大を促進します。

〈産業振興課/食糧花き水産課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
スサージのサネ	R1	R2	R3	R4	
日本酒の生産技術の強化支援	支援				
酒米の生産拡大等に必要な機械・施設整備の支援	支援				
本県に適合する酒米の品種検討・選定	栽培・検討		試験醸造	選定	

# 7 地域商業活性化への支援

## 施策の目指す姿

#### 現在

郊外への大型店の出店やインターネット通販 の拡大等により、地域の商業を取り巻く環境は 厳しさを増している。



将来

商店街などにおける既存店舗の魅力づくり や、新規出店等により、地域商業が活性化し、 住民の身近な買い物場所として人々の生活を支 え、地域に賑わいを創出している。

R4

県の支援による新規出店者数

160件(R1-4累計)

#### H30

県の支援による新規出店者数

145件 (H27-30 累計)

## 施策の概要

商店街をはじめとした地域商業の活性化を推進するため、商店街等が実施するハード整備やソフト事業、 起業による新規出店を支援するとともに、地域商業活性化を担う人材を育成します。

〈産業政策課/産業振興課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)				
⇒ はいます。	R1	R2	R3	R4	
商店街等が実施するハード整備やソフト事業への支援	支援				
起業による新規出店への支援	支援				
地域商業活性化を担う人材の育成	人材育成				
買い物弱者対策への支援	支援				

# 郷土食等による地域の活性化・観光振興

## 施策の目指す姿



近年の少子高齢化や地域社会との関わりの希 薄化、また食のグローバル化が進む中で、地域 に伝わる郷土食等の継承が難しくなっている。

H30

食の伝承マイスターの認証件数

5 件

#### 将来

郷土食等に光りがあたり「食」による地域の 活性化や観光振興につながっている。

R4

食の伝承マイスターの認証件数

14 (累計)

## 施策の概要

食による地域の活性化や観光振興を図るため、本県で食育推進全国大会を開催するとともに、食の伝承マイ スターの認証、郷土食等のデータベース化などにより、県産食材を使った郷土食等を継承する取り組みを進め るとともに広く魅力を発信することで、食による地域の活性化に向けた取り組みを進めます。

〈県民安全協働課〉

具体的な事業	工程表(年度別事業計画)			
	R1	R2	R3	R4
食育推進全国大会の開催	開催			
食による地域の魅力発信の取り組み	実施		発信	

# 9 豊かな食材を活用した食のブランドの確立

## 施策の目指す姿

#### 現在

近年、本県への観光客は増加する半面、観光 消費額は減少傾向にある。



## 将来

豊かな食材を活用した食のブランドが確立 し、本県の「食」を楽しむため、国内外からの 観光客の増加及び観光産業の収益力向上が実現 している。

#### R4

本事業で創造した料理スタイルに賛同し、 新たな取り組みを行う 県内飲食関係団体数

2 団体

## 施策の概要

食の魅力による誘客や観光産業の収益力向上を図るため、本県の豊かな食材を活用した新たな料理スタイルの創造や飲食関係団体の支援などを行います。

〈観光振興課〉

目はいた車器		工程表(年度	別事業計画)	
具体的な事業	R1	R2	R3	R4
本県の食材を活用した食のブランドの確立に向けた取り組み	検討	支援		

## 10 史跡甲府城跡の適切な継承と中心市街地の活性化

## 施策の目指す姿

#### 現在

空洞化の進んでいる中心市街地について、これまでの駅前広場や平和通り等の一体的な整備により、依然として空き店舗が目立つものの、歩行者が増加するなど、着実に効果が現れている。 一方、甲府市の中心市街地に位置する史跡甲

一方、甲府市の中心市街地に位置する史跡甲 府城跡の保存、活用に関する基本的な指針がな く、史跡の魅力を十分に活かせていない。

#### H30

甲府城周辺地域活性化実施計画を策定し、整備に着手

## 将来

基本的な指針に基づき史跡甲府城跡の適切な 保存と関連施設の整備等による魅力向上が図ら れるとともに、公共施設跡地等を活用し、県と 甲府市の共同で甲府城周辺整備が行われ、新た な人の流れが生まれている。



R4

史跡甲府城跡保存活用計画等に基づいて、 甲府城跡の保存と活用、周辺整備を推進している。

## 施策の概要

郷土への誇りや愛着を深め、史跡甲府城跡を次代へ着実に継承しつつ、更なる活用を推進するとともに、中心市街地の賑わいの創出や活性化を図るため、甲府城周辺整備を進めます。

〈文化振興・文化財課/都市計画課/産業政策課〉

日仕的た古光	工程表(年度別事業計画)			
具体的な事業	R1	R2	R3	R4
甲府城跡保存活用計画の策定	検討	策定		
甲府城跡保存活用計画に基づく整備等		検討・実施		
中心市街地活性化に向けた甲府城周辺整備と まちづくり活動の支援	整備・支援			